

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年8月24日		使用開始日		
登録診療科	血液内科		申請医師	松永 一美	化学療法委員会承認年月
レジメン名	G-ペンダムスチン(2~6コース目)				
疾患名	濾胞性リンパ腫		適応の備考	CD20陽性の濾胞性リンパ腫	
適応分類	進行・再発、寛解導入				
1コース日数	28	日間	総コース数	5	コース
抗がん剤投与量・投与日			ガザイバ1000mg/body day1、ペンダムスチン(トリアキシン)90mg/m ² day1-2		
治療スケジュール・投与日程(投与日は●)			(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
1	主ルート	生食100mL	1	本 / body	30分	●																										
	点滴静注	水溶性プレドニン注50mg	2	A / body		●																										
2	主ルート	生食250mL	1	本 / body		●																										
	点滴静注	ガザイバ注	1000	mg / body	下記	●																										
3	主ルート	グラニセトロン注ハック [®] 1mg/50mL	1	本 / body	30分	●	●																									
	点滴静注			/																												
4	主ルート	生食50mL	1	本 / body		●	●																									
	点滴静注	トリアキシン注	90	mg / m ²	10分	●	●																									
【減量基準】																																
前コースの投与量 120mg/m ² → 90mg/m ² で再開																																
90mg/m ² → 60mg/m ² で再開																																
60mg/m ² → 中止を検討																																
なお、減量後は再増量しないこと。																																
5	主ルート	生食50mL	1	本 / body	5分	●	●																									
	点滴静注			/																												
6	なし	ポララミン錠2mg	1-3	錠 / body		●																										
	—	ジクロフェナク錠25mg	1	錠 / body		●																										
ガザイバ投与の30分前																																

【投与上の注意】

・中等度催吐性用のデキサートは不要。

トリアキシン:希釈は生食のみ。

ガザイバ:0.2または0.22μmのインラインフィルターを使用して投与する。

ガザイバ:前投薬としてポララミン(2)1~3錠、ジクロフェナク(25)1錠を内服する。前投薬のプレドニン注の代わりに内服投与する場合は、プレドニン錠(5)20錠を別にオーダーする。

ガザイバ:投与速度は1コース目初回は12.5mL/h×30分、25mL/h×30分、37.5mL/h×30分、50mL/h×30分、62.5mL/h×30分、75mL/h×30分、87.5mL/h×30分、残りは100mL/hとする。

ガザイバ:1コース目2回目以降はGrade2以上のinfusion reactionが発現しなかった場合、25mL/h×30分、50mL/h×30分、75mL/h×30分、残りは100mL/hとする。

ガザイバ:2コース目以降は1コース目の投与でGrade3以上のinfusion reactionが発現しなかった場合、25mL/h×30分、残り最大225mL/hとする。

なお、前回の投与でGrade3のinfusion reactionが発現した場合は、初回投与時の速度とする。

ガザイバ:総液量250mLに調製。